

2026-09-09

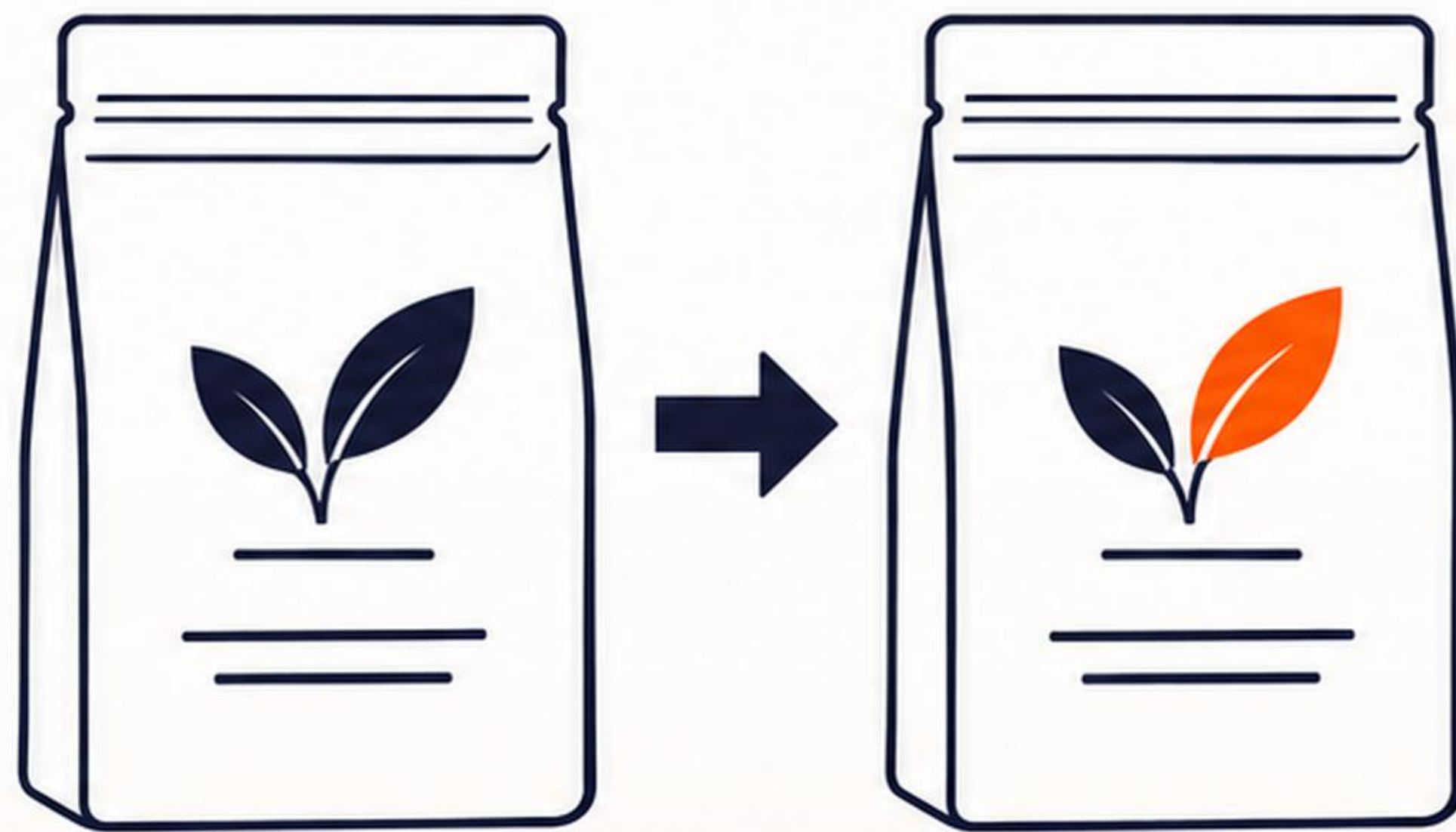
1. ChatGPT Images 2.5で部分編集をしやすく
2. Claude Code 2.1.265のプラグイン配布と再開処理
3. MiniCPM5-2Bを手元の端末で試す

画像編集・開発・ローカルAI

ChatGPT Images 2.5の部分編集

OpenAIは9月8日、画像の一部だけを直す精度と、編集を繰り返した際の一貫性を改善したChatGPT Images 2.5を公開した。

- 参照写真の被写体や、変更を指示していない部分を保ちやすくした。
- Sketchで描いたラフを参照にでき、画像上のコメントでも修正箇所を伝えられる。
- APIには速さを重視するFlareと、精密な制作向けのSunburstを追加した。



商品画像やチラシでは、元画像を残して一部分を直す仕事が多い。

Claude Codeの再開処理を改善

Claude Code 2.1.265は、複数のプラグインをまとめたフォルダを指定して読み込む機能を追加した。

- `--plugin-dir`配下のプラグイン追加・削除を、実行中にも検知する。
- 再開時にツール一覧やシステム指示が変わり、キャッシュを再利用できなくなる問題を修正。
- ディスクに保存するツール結果に1GBの上限を設け、切り詰めた場合は会話内に表示。



長い作業を再開して使う人に関わる更新だ。

MiniCPM5-2Bを手元で試す

OpenBMBがローカル実行向け言語モデルMiniCPM5-2Bの重みを公開した。

- 標準のLlamaForCausalLM構成を採用し、Apache-2.0で公開。
- GGUF版はllama.cpp・Ollama・LM Studio、MLX版はApple Silicon向け。
- ツール呼び出しを想定した手順と、vLLM・SGLangでの実行例を提供。

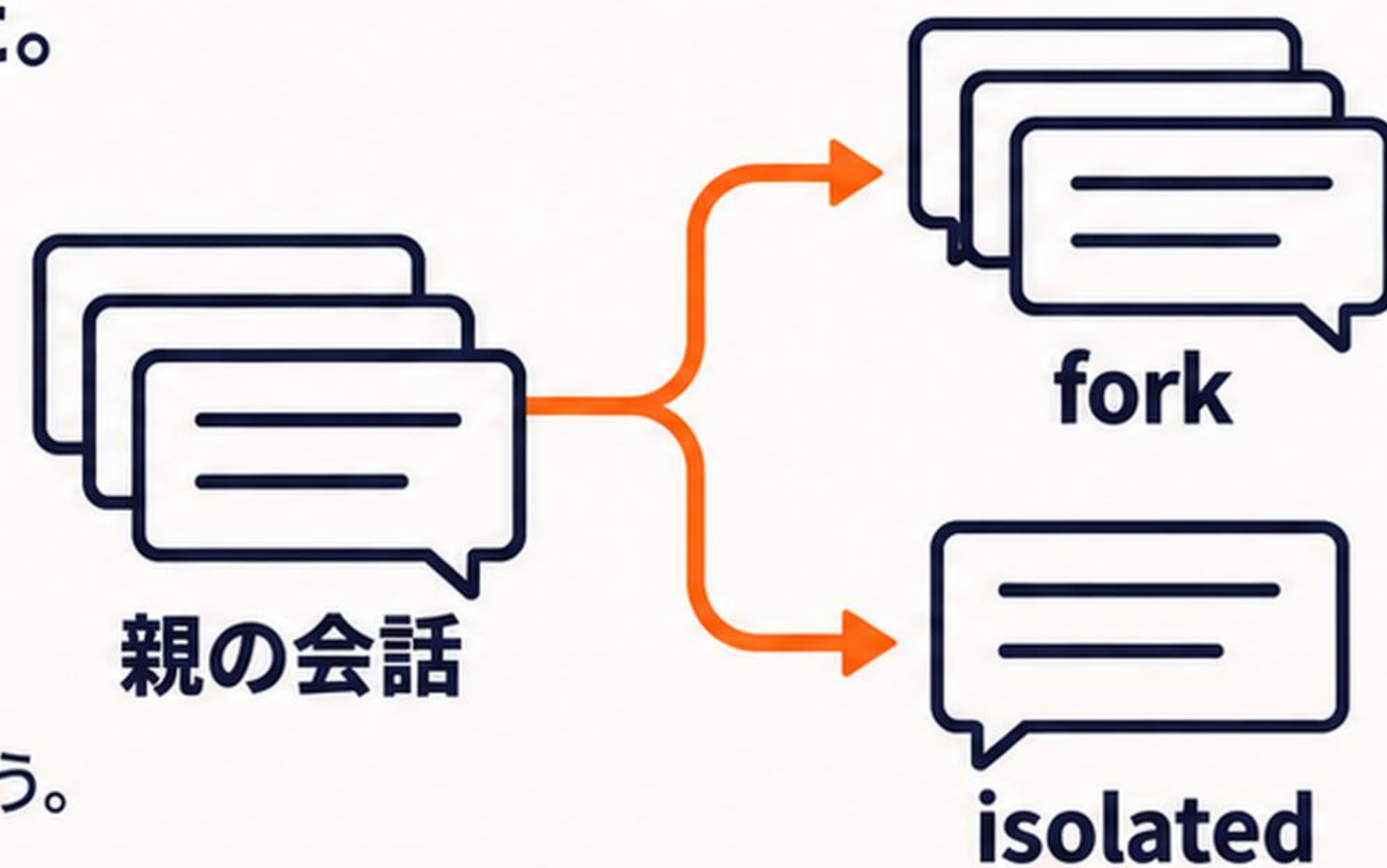


小型モデルを自分の端末で試す候補が増えた。

Deep Agentsにどの会話を渡すか

LangChainはDeep Agentsで、サブエージェントへ親の会話を引き継ぐforkと、新しい文脈で始めるisolatedの使い分けを公開した。

- 既定のisolatedは、親が指定したタスクの説明から始める。
- forkは親の会話履歴と状態を引き継ぎ、同じ資料の再読を減らせる。
- 公式例は修正の実装にfork、独立レビューや単独の調査にisolatedを使う。



実装を引き継ぐ人には経緯が役立ち、独立した点検では先入観が邪魔になることもある。

〈知見〉設計と実行のモデル選び

James Phoenixは、用途を絞ったAI処理について、高性能モデルで実行スクリプトを作り、日々の処理は低価格モデルに任せる設計を紹介している。

- 対象は「一種類の文書・一つの問い・決まった出力形式」に絞れる仕事。
- 実行例ではツールを持たせず、応答を1ターンに限定する。
- 正解が分かる入力を50～100件ほど幅広く試し、失敗の種類ごとにスクリプトを直す手順を提案。

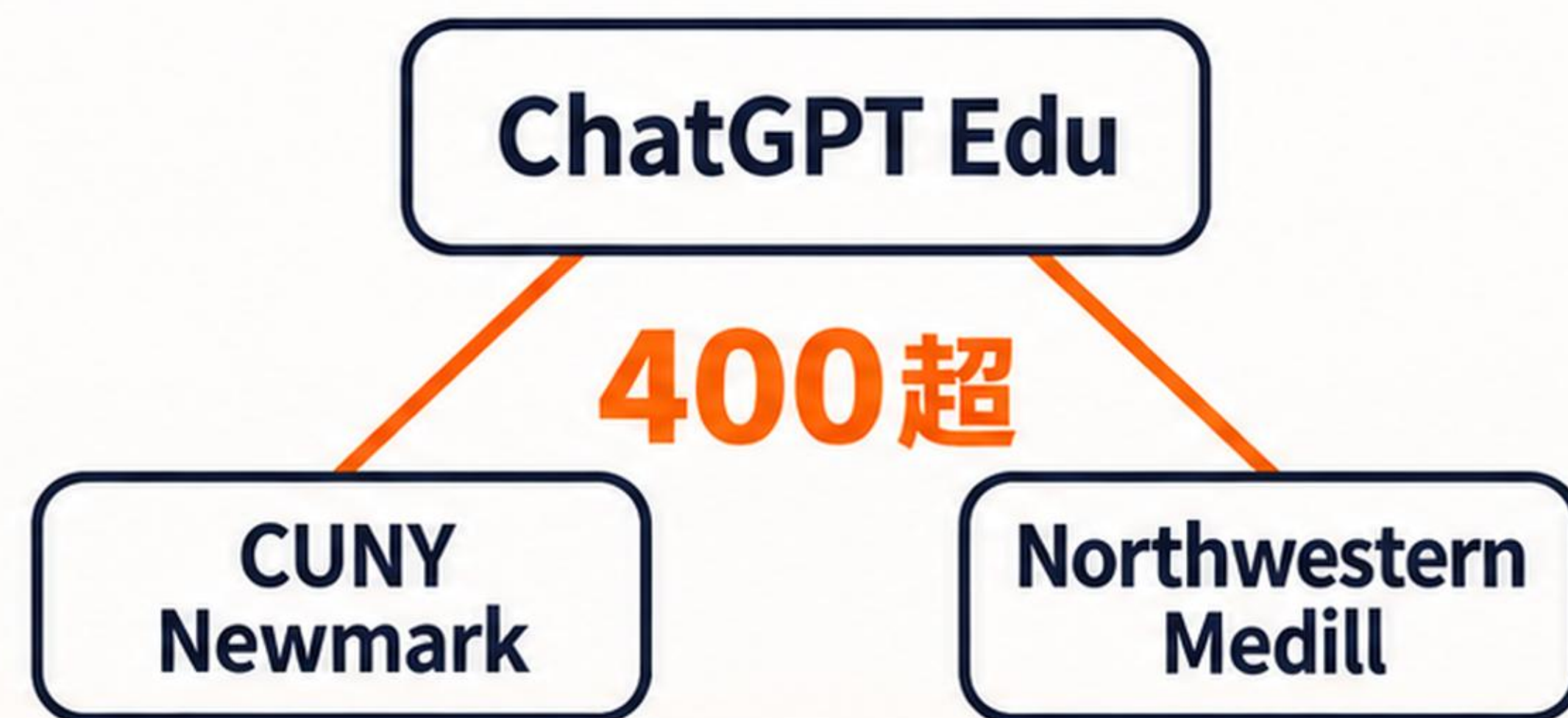


定型の抽出や分類を繰り返す仕事なら、まず正解付きの評価用データを用意したい。

報道教育へ400超の利用枠

OpenAIは9月8日、CUNY NewmarkとNorthwestern Medillの大学院生・教員向けに、400超のChatGPT Edu利用枠を提供すると発表した。

- 2026～2027年度に向け、両校のジャーナリズム・技術拠点と連携。
- 公開記録の分析、翻訳、アーカイブ検索などを利用例として挙げる。
- OpenAI Academy for News Organizationsで実務例や手順書を提供。

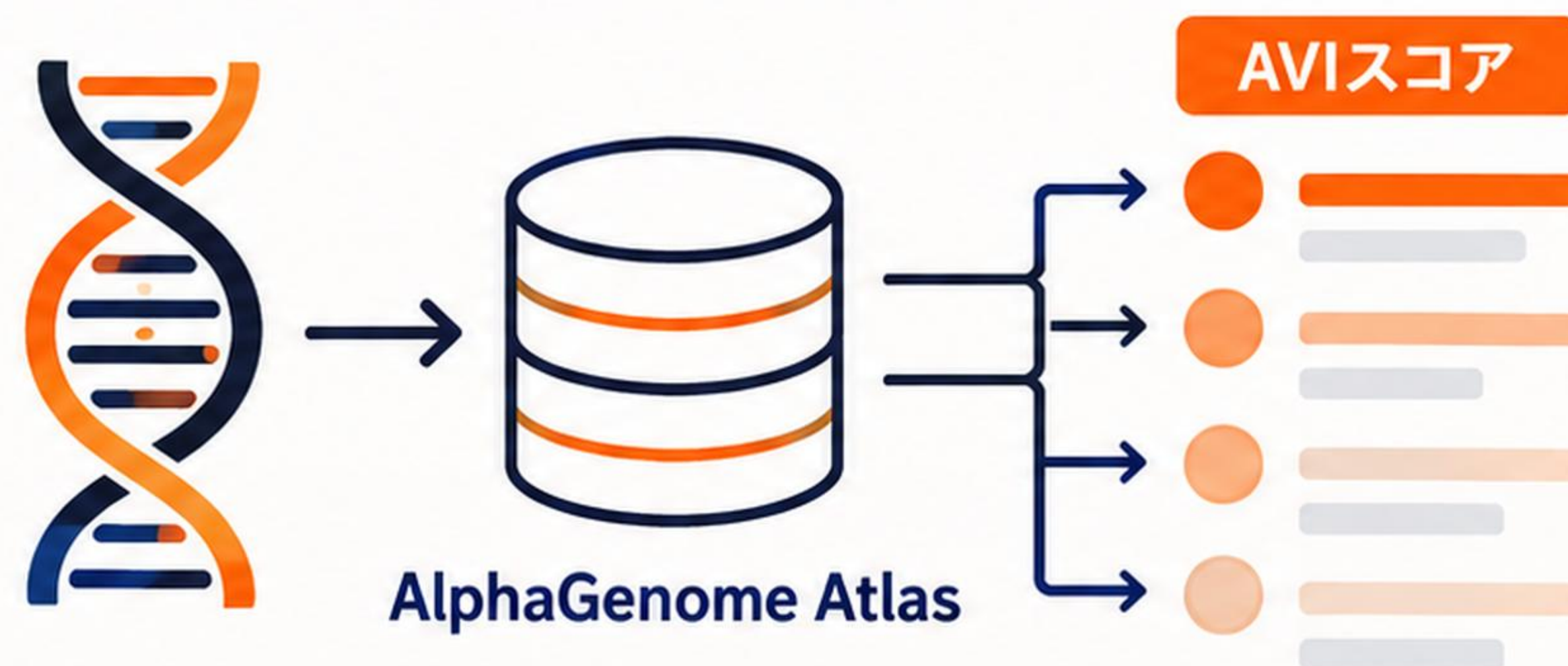


業界に合う教材や利用場面を、ツールの提供と一緒に整える事例だ。

約90億の遺伝子変異を予測

Google DeepMindは9月8日、ヒトゲノムで起こり得る約90億の一塩基変異について、分子への影響を予測した AlphaGenome Atlas を公開した。

- 約1ペタバイトの予測データと、影響を順位付けする AVI スコアを提供。
- 遺伝子の働きを調節する領域も含め、予測の根拠となる特徴を表示する。
- 研究用途向け。臨床用途では未検証・未承認。



大量の予測を事前に計算し、検索しやすいデータと操作手段を配る事例だ。

本日のトピック一覧

気になる仕事で一つ試してみる

- 1 ChatGPT Images 2.5で部分編集をしやすく
- 2 Claude Code 2.1.265のプラグイン配布と再開処理
- 3 MiniCPM5-2Bを手元の端末で試す
- 4 Deep Agentsは担当に応じて会話を渡し分ける
- 5 〈知見〉設計と実行でモデルを分ける
- 6 報道教育へ400超のChatGPT Edu利用枠
- 7 約90億の遺伝子変異予測をAlphaGenome Atlasで公開